

Ⅱ. 論理的思考力育成の授業実践事例

1. 論理的思考力とは

論理的思考力を「**多様な論理的思考方法を活用して考え、根拠を明確にして判断し、その考えを分かりやすく伝える力**」と定義した。

論理的思考力について分科会ごとに話し合い「論理的思考力活用表」(Ⅱ-2)を作成した。そこでは、思考方法を、「比較」「関係付け・因果関係」「分類」「理由づけ・類推」「根拠」「順序」「手順化」「帰納」「演繹」の9項目とした。低・中・高学年ごとの各項目の名称、意味・内容、使い方・話型、を共通のものにした。また、授業の中で思考を整理するために使う具体的な方法としての「シンキング・ツール」(Ⅱ-4)について確認した。

実際の授業の中では、「論理的思考力活用表」を活用することで児童にとっても考える筋道が明確になった。また、思考方法が一つだけではなく複数の場合もあった。「実践事例」(Ⅱ-3)参照。

「論理的思考」
= 妥当な根拠付けをし、伝えること

「論理的思考力」

多様な**論理的思考方法**を活用して**考え、**
根拠を明確にして判断し、
その考えを分かりやすく伝える力

(1) 多様な**論理的思考方法**を活用して**考え、**

スポーツ大会の種目、何にしよう？

ブレインストーミングで出してみよう。

(2) **根拠を明確にして判断し、**

分類して整理しよう。

スポーツ大会の目的に合うものは…

サッカー	リレー	バスケ	テニス
野球	キックベース	ドッジボール	
ドロケイ	おにごっこ	バレーボール	

おにごっこ	野球	↑ 大人数	ドロケイ
キックベース		ドッジボール	サッカー
		バスケ	
個人型			協力型
	テニス	↓ 少人数	

(3) その考えを**分かりやすく伝える。**

スポーツ大会の種目は、ドロケイが良いと思います。
理由は、一度に大人数が遊べてチームプレイもできるので、「クラスの仲を深める」というスポーツ大会の目的に合っているからです。また、ルールを皆知っているからです。

【目指す児童の姿】

論理的に考え、
根拠を明確にして判断し、
分かりやすく伝えられる児童

